

県立富士見高校 ≪活性化・特色化方針（スクール・ポリシー）≫

課程	全日制	学科	普通科	R7.5.1 生徒数	(男) 290 (女) 249	計 539			
アクセス	東武東上線「鶴瀬駅」または「志木駅」よりバス 「富士見高校」バス停下車 徒歩 3 分								
＜目指す学校像＞									
自ら学び考え、仲間や地域と協働して課題に果敢に挑み、将来社会で活躍できる生徒を育成する学校									
＜教育課程等＞※ 1									
・ 1 学年、2 学年は「少人数学級編成」（1 クラス増設し、1 クラス 33 人程度） ・ 1 学年、2 学年の国語、数学、英語は生徒の学力等に応じた「習熟度別授業」（各クラス 22 人程度） ・ 2 学年、3 学年では、多彩な「選択科目」をそろえて、興味関心をもとに一人一人の進路実現に対応 ☆昨年度に「大学クラス」を新設。志望校全員合格、「日東駒専」合格 20 名以上、英検・漢検準 2 級以上合格を目標に、朝学習や補助教材を使った授業、モチベーションを維持するための模擬試験やキャンパスツアー、高大連携（大学の講義を受けることで、通常の高校生活だけでは得られない学びを実体験し、彩の国アカデミーの単位修得もできる）に取り組めます。									
＜本校が求める生徒＞※ 2									
夢に近づくための努力を怠らない、ルールをしっかり守る、部活動やボランティア、行事に主体的に取り組む活力あふれる生徒を求めます。									
＜学校行事＞									
・ 修学旅行：平和学習や班別行動で「生きる力」の育成を目的に行います（2 学年 1 1 月） ・ 新入生歓迎会・クラス旗作成（4 月）、遠足（6 月）、楓樹祭（9 月）、体育祭（10 月）、マラソン大会（11 月）、球技大会（7・12 月）、予餞会（2 月）を実施します ☆富士見高校の学校行事の企画・運営は生徒会生徒が中心となって行います。学校行事を通して生徒の主体性や創造性、実践力などが培われているのも富士見高校の特色の一つです。									
＜部活動＞									
1 運動部（11 の部活動）：恵まれた施設・広大なグラウンドで汗を流し、青春の時を刻んでいます。仲間と一緒に今しかできないことに一生懸命取り組み、地区予選を突破し、県大会へ進むチームが複数あります。「一生懸命」な時間を仲間と共有することで他者理解など「人間力」が育っています。 2 文化部（14 の部活動）：各種大会や楓樹祭（文化祭）などで作品を披露しています。 ◎書道部は直近 5 年で全国高等学校総合文化祭に 3 度作品を出展しています。令和 7 年 7 月にはかがわ総文祭 2025 にも出品が決定しています。									
＜家庭・地域との連携＞									
1 富士見市議会との協働事業において総合的な探究の学習の一環として市内に出ていき、富士見市について各々が調べたいことをまとめています。さらにそれを、市の議場での発表「富士高生の主張 in 富士見市議会」まで繋げ、富士見市の活性化の一旦を担っています。 2 春の「子どもフェスティバル」、夏の「ピースフェスティバル」、冬の「ふるさと祭り」などのイベントや各種選挙など、生徒会生徒を中心に協力・参加して、市内唯一の高校として存在感を示しています。 3 全教員が総がかりで生徒の「変化」に気づき、家庭と共有するとともに、本人・家庭・学校の連携、さらには「スクールカウンセラー」「スクールソーシャルワーカー」の専門的見地からの助言を踏まえて、生徒や家庭の支援に取り組んでいます。									
進路	R7.3 卒業生	四大	62 人 (+18 人)	短大	9 人 (-9 人)	専門	72 人 (+12 人)	就職	22 人 (-20 人)
	傾向	進学希望者が 7 割で、その中の多くの生徒が推薦型入試を活用しています。大東亜帝国ランクの大学希望者が増加しており、大東亜帝国には 13 名が合格しました。日東駒専にも挑戦する生徒が増えており、5 名が合格しました。これらは本校において過去最多の合格者数となっています。							
年内入試への意識が高く、進路活動の動き出しが早い生徒が多くなっています。									

【学校教育法施行規則第 103 条の 2】高等学校における三つの方針

裏面 育成を目指す資質・能力に関する方針（グラデュエーション・ポリシー）

※ 1 教育課程の編成及び実施に関する方針（カリキュラム・ポリシー）

※ 2 入学者の受入れに関する方針（アドミッション・ポリシー）

Fulltime U.S. 育成方針

1 主な方策

「君の努力が報われる」、そんな学校です。多彩な進路行事などの学校行事、規律ある学校生活、活気ある部活動に加え、3年間進路を探究し、挑戦し続けた先に、あなたの目標とする未来が待っています。特に富士見高校では、日々の生活の中に小さな挑戦の機会を数多く設け、小さな成功体験から自信を培い、大きな挑戦への一歩が踏み出せるような教育活動をしています。なかでも探究学習においては発展的な取り組みをしています。12月には高大連携事業「オープンカレッジ」の最終回において探究学習の成果を発表します。1月には1、2学年合同の探究発表会があります。また、富士見市議会との協働事業である「富士高生の主張」では、議場において富士見市議会議員に対し市政への提言を行います。さらに、埼玉県教育委員会主催の「探究活動生徒発表会」や、「SDGsQUEST 未来甲子園」にも出場しています。令和6年度は埼玉県で3位相当の成績を収めました。これらは、学習活動の成果を外部に発信して評価を得る機会、多くの聴衆に対して発表する機会、異なる学校の生徒と意見交換・交流を行う機会を設けることで、校内活動では得られない貴重な経験ができるものです。富士見高校では日々の学習や探究活動をとおして、実生活の中から問いを見だし、自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現する学習活動によって、社会で活躍できる力の育成に力を入れています。

今年創立50周年を迎え、制服を刷新した富士見高校は、皆さん一人ひとりが主役となれる学校です。是非学校説明会に参加していただき、富士見高校の生徒が輝いている姿を見てください。

2 方策のイメージ

